



＜ポスター セッション＞

- + ツール（テスト・チェック）が支える（伝える）、後工程でのソフトウェア品質
株式会社シーイーシー PROVEQ サービス事業部
- + JSTQB のご紹介
JSTQB 技術委員
- + プロジェクトを健全に保つための問題解決のコツ
～ テスト技法だけでは解決できない問題にどう対処するべきか ～
木南浩司・山崎拓人・相場信太郎・横地真吾・新家美穂・藤田航輝
(株式会社マネジメントソリューションズ)
- + わーぷらで見える化！ ～ バグ票に関わるコミュニケーションリスク ～
近美 克行（バグ票ワーストプラクティス検討プロジェクト）
- + 魅力品質勉強会の活動紹介
堀井 祐美（魅力品質勉強会）
- + 派生開発におけるソフトウェアテストの課題や不安の情報収集結果の中間報告
AFFORDD T4 研究会
- + T F C K A・R I・Y Aによるテスト設計コンテスト 2014 振り返り
～ 今、明かされる TFC 流テスト設計のヒミツ（っぽいもの） ～
T F C K A・R I・Y A

ツール（テスト・チェック）が 支える（伝える）、 後工程でのソフトウェア品質

◆ 発表者 ◆

株式会社シーイーシー PROVEQ サービス事業部

◆ 概要 ◆

「もう少し早くバグを発見できていたら」
「仕様理解をもう少し短期でできたら」・・・
早期のソフトウェア品質担保は、後工程において、
工数として見積もれない部分（手戻り）への影響が
小さくはないのではないのでしょうか。
これらの課題に対しては、
やはりワークフローに則したツールの導入と運用の定着が
必要だと考えます。
弊社は、第三者検証サービス 15 年の実績を基に、
あなたの困り事をヒアリングし、
これに見える形でプロジェクトのワークフローに則した提案を
させていただきます。
是非、我々に「あなたが現場で困っている事」をご相談下さい。
弊社の検証サービスラインナップから、
あなたの為の品質サービスソリューションをご提案いたします。

株式会社シーイーシー（東証一部）

設立：昭和 43 年 2 月 24 日

売上高：409 億 2 千 3 百万円（平成 26 年 1 月期）

従業員数：2,420 名（平成 26 年 4 月 1 日現在）

JSTQB のご紹介

◆ 発表者 ◆

JSTQB 技術委員

◆ 概要 ◆

『テストエンジニアのスキルを示せる
グローバルスタンダード』、それが ISTQB です。
ISTQB は世界でもメジャーな、
ソフトウェアテストの資格認定制度を提供しています。
既に 70 か国以上で運営され、
資格認定者数は 30 万人を超えています。
ワールドワイドで通用する資格を認定するだけでなく、
テスト手法や技法、用語を学習できるスキームを
提供しているということも大きな魅力の一つです。
本セッションでは日本の運営団体である JSTQB が、
本資格認定制度の概要や特徴、
取得メリットなどを詳しくご紹介 & 説明します。

プロジェクトを健全に保つための 問題解決のコツ

～ テスト技法だけでは解決できない問題に
どう対処するべきか ～

◆ 発表者 ◆

木南浩司・山崎拓人・相場信太郎・
横地真吾・新家美穂・藤田航輝
(株式会社マネジメントソリューションズ)

◆ 概要 ◆

テスト結果報告を見る限り、一見何の問題もないように見えるプロジェクト。

しかし、それだけでは見えてこない病魔が、プロジェクトの健康状態を蝕みつつある、なんてことがあるかもしれません。では、プロジェクトの状態が本当に健全であるか否かを調べる方法はあるのでしょうか。

プロジェクト内の「情報」の質や動きなどに注目すると、プロジェクトの健全度を測ることができます。

PMO（プロジェクトマネジメントオフィス）とは、一体どんな役割を果たすべき組織でしょうか。

弊社は、PMO サービスに特化した会社として、多くの知見を有しています。

今回はみなさんの現場でも役に立つ

「プロジェクトを健全に保つための問題解決のコツ」を紹介します。

株式会社マネジメントソリューションズ 略称：MSOL
事業内容 プロジェクトマネジメントコンサルティング/
PMO 実行支援／トレーニング

わーぷらで見える化！ ～ バグ票に関わる コミュニケーションリスク ～

◆ 発表者 ◆

近美 克行

(バグ票ワーストプラクティス検討プロジェクト)

◆ 概要 ◆

バグ票はソフトウェア開発プロジェクトで最も多くの関係者が関わる開発文書です。
我々バグ票ワーストプラクティス検討プロジェクトでは、そんな身近なバグ票に関わる、失敗事例や腹の立った例を収集し、アンチパターン（一種のべらかず集）をまとめる活動をしています。
今回は報告者から開発者、また開発者から修正検証者にバグ票による情報がうまく伝わらないのはどのようなケースがあるのか、収集した事例からご紹介致します。

魅力品質勉強会の活動紹介

◆ 発表者 ◆

堀井 祐美
(魅力品質勉強会)

◆ 概要 ◆

皆さんの製品の魅力とは何ですか？
魅力品質勉強会は「製品の良さを評価するために
どの品質特性に着目すればよいか」というテーマのもと、
主にユーザビリティテストについて勉強しています。
メンバーはユーザビリティテスト経験者から
未経験者までさまざまです。
「ユーザビリティテストイング(黒須正明著)」を
テキストに読み進めながら
各自の経験談や疑問点などを出し合っています。
今回のポスターセッションでは、
これまでの活動報告と今後の活動内容について
ご紹介します。

派生開発における ソフトウェアテストの課題や不安の 情報収集結果の中間報告

◆ 発表者 ◆

AFFORDD T4 研究会

◆ 概要 ◆

派生開発推進協議会（AFFORDD）T4 研究会では
派生開発プロセス XDDP とテストプロセスとの接続を
テーマに研究活動を行っています。
現在、本研究会では派生開発における
ソフトウェアテストの課題や不安に関する
情報収集と整理を行っており、
今回はその中間報告を行わせていただきます。
また、会場にご来場いただいた方々にもご協力いただいて、
派生開発のテストに関する課題や不安の
ブラッシュアップを図り（*）、
今後の研究活動に繋げて行きたいと考えております。
ご来場お待ちしております。

（*） 掲示資料の上に課題や不安を記載した付箋紙を
貼っていただき、
その場で資料のブラッシュアップや情報共有を
行う予定です。

TFC KA・RI・YAによる テスト設計コンテスト 2014 振り返り ～今、明かされる TFC 流テスト設計のヒミツ（つぽいもの）～

◆ 発表者 ◆

T F C KA・RI・YA

◆ 概要 ◆

私たちは東海地方でソフトウェアテストや品質について勉強しているコミュニティ「TEF東海」の有志で結成したテスト設計に関する勉強サークルです。週に1回、愛知県刈谷市で勉強会をやっています。だから KA・RI・YA です！！

昨年度開催されたテスト設計コンテスト 2014 では、「知力」「体力」「時の運」で何とか優勝を果たす事が出来ました。
が、新しすぎる形式の当日プレゼンや掲示資料が賛否両論を巻き起こし、特に Web 掲載の資料のみをご覧になった方々には大量の「？」をもたらす結果となりました。

そこで、今回のポスターセッションでは TFC 流のテスト設計がどういったものだったのか改めて振り返り、TFC 流のテスト設計プロセスの全体像、その意図や目的、そして我々がテストアーキテクチャーをどうとらえたかをお伝えできればと思います。よろしく願いいたします。